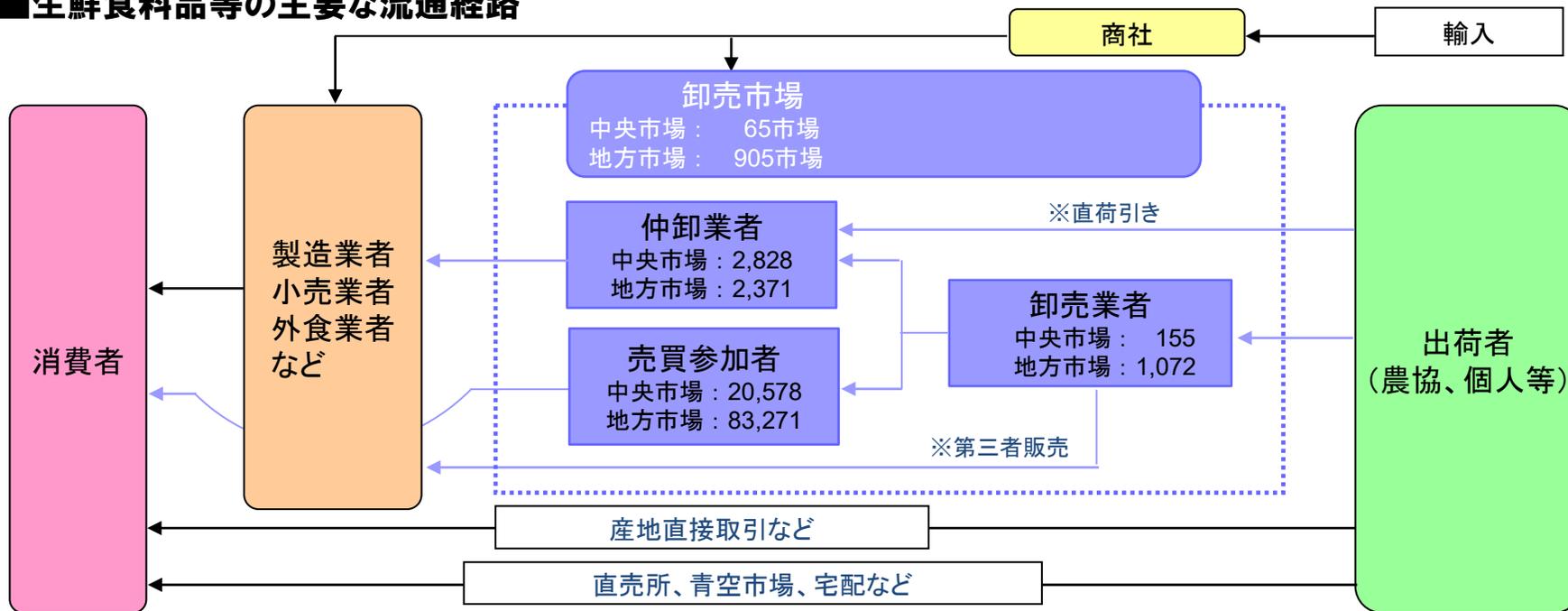


6. 卸売市場について

○ 卸売市場の役割・機能

- 卸売市場は、野菜、果物、魚、肉など日々の食卓に欠かすことのできない生鮮食料品等を国民に円滑かつ安定的に供給するための基幹的なインフラとして、多種・大量の物品の効率的かつ継続的な集分荷、公正で透明性の高い価格形成など重要な機能を有している。
- 卸売市場は生鮮食料品等の流通の基幹的なインフラとしての役割を果たしており、青果の5割強、水産物の5割弱が卸売市場を経由している(国産青果物では約7割)。

■生鮮食料品等の主要な流通経路



※第三者販売及び直荷引きについては、市場によっては業務規程において、その取引を制限している場合がある。

(中央の市場数のデータは、令和5年10月末時点、中央市場の卸売業者数のデータは令和4年度末時点、中央市場の他の業者数及び地方市場のデータは令和3年度末時点)

■市場の主要機能

① 集荷(品揃え)、分荷機能

全国各地から多種・大量の物品を集荷するとともに、実需者のニーズに応じて、迅速かつ効率的に必要な品目、量へと分荷

② 価格形成機能

需給を反映した公正で透明性の高い価格形成

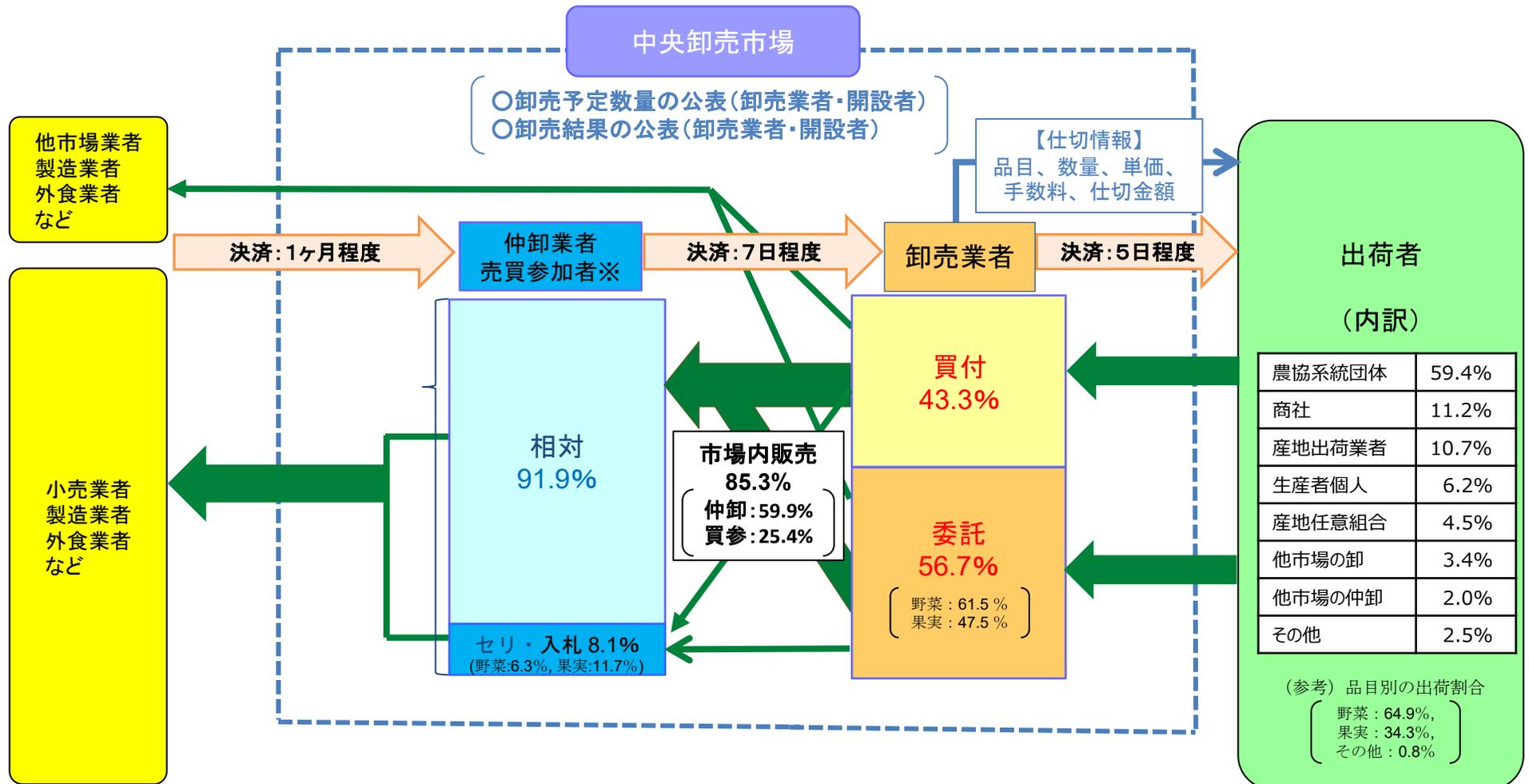
③ 代金決済機能

販売代金の出荷者への迅速・確実な決済

④ 情報受発信機能

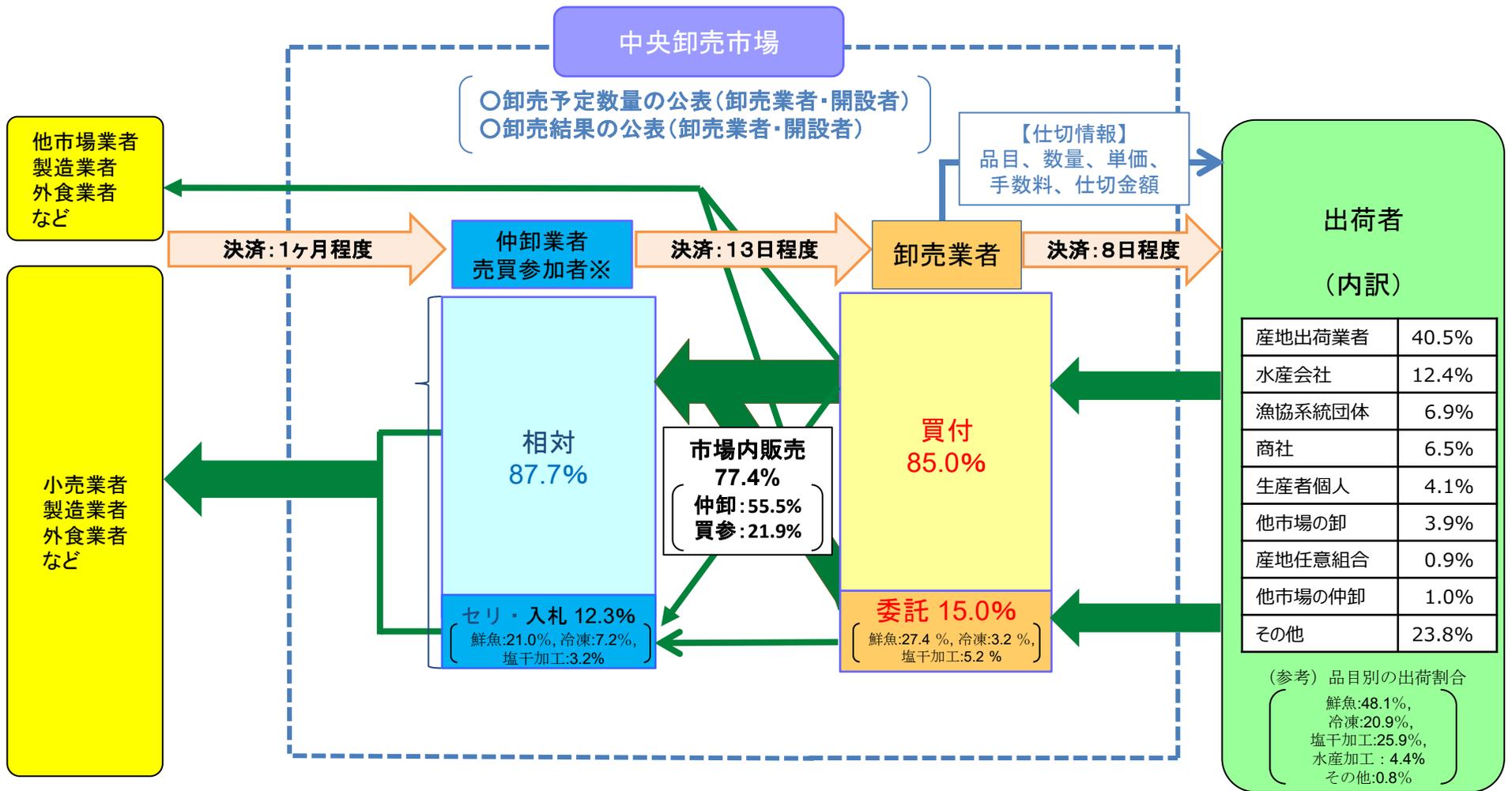
需給に係る情報を収集し、川上・川下それぞれに伝達

○ 中央卸売市場の取引構造（青果）



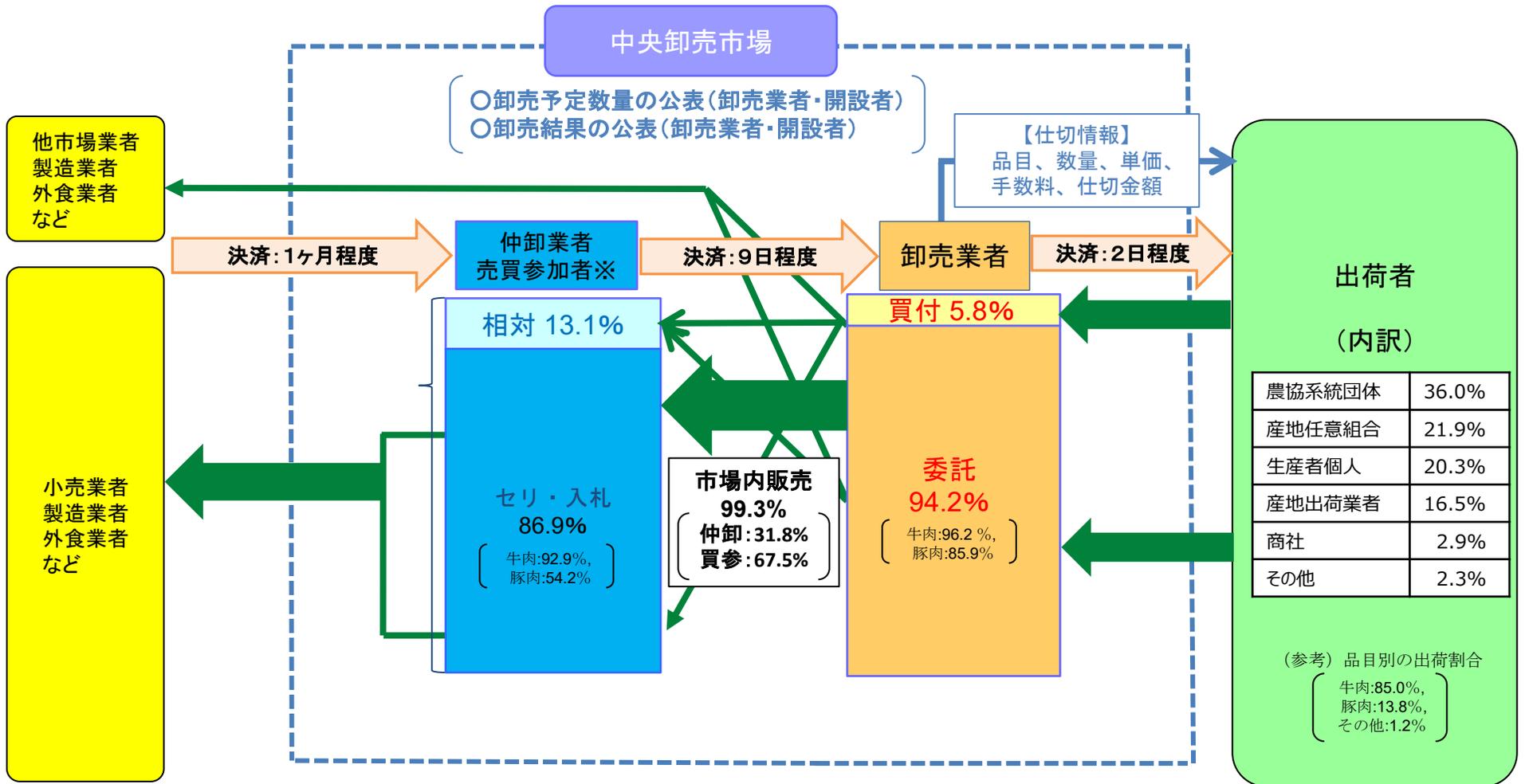
※ 各種の割合は、令和3年度（金額ベース）

○ 中央卸売市場の取引構造（水産）



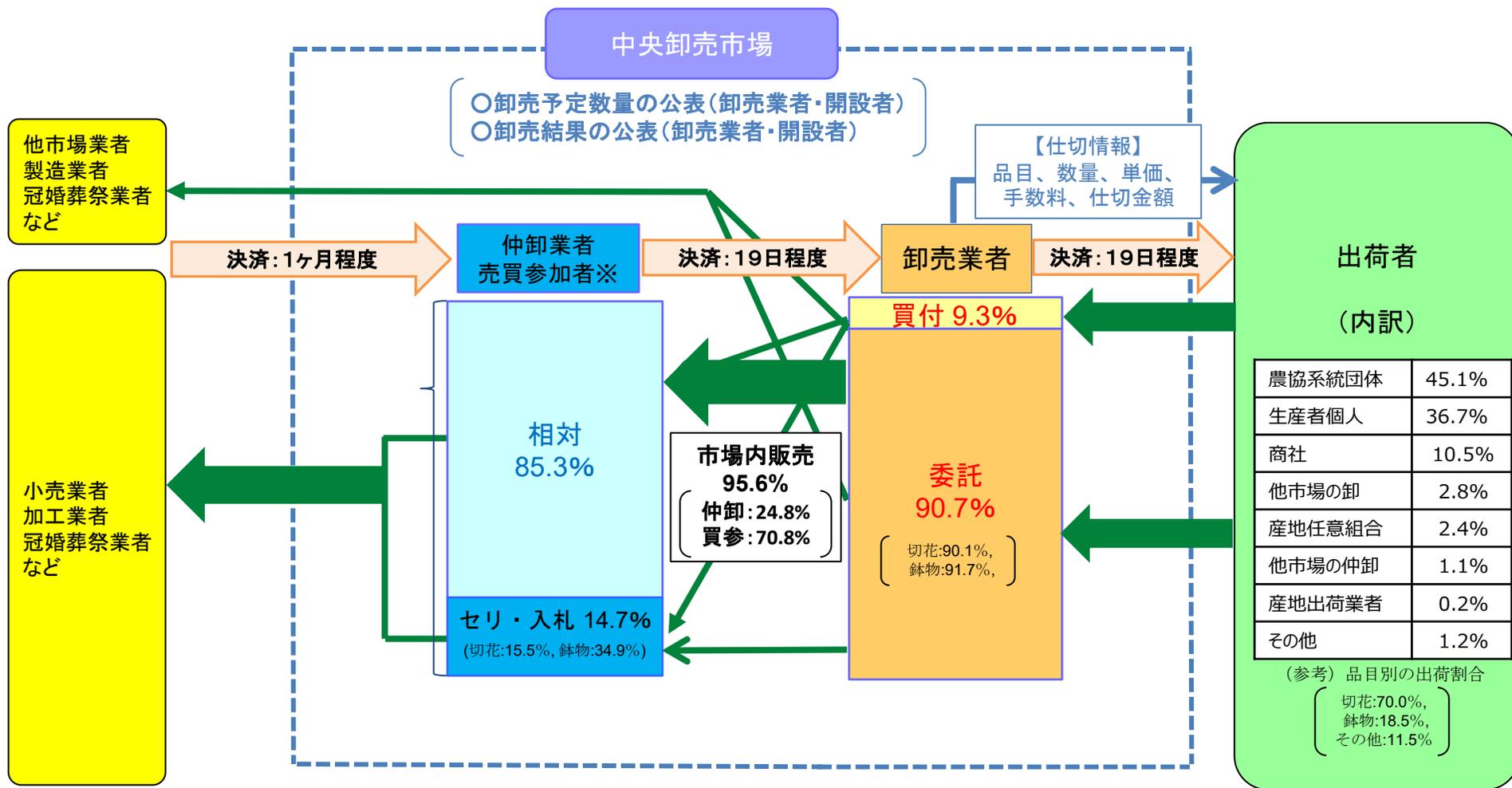
※ 各種の割合は、令和3年度（金額ベース）

○ 中央卸売市場の取引構造（食肉）



※ 各種の割合は、令和3年度（金額ベース）

○ 中央卸売市場の取引構造（花き）



※ 各種の割合は、令和3年度（金額ベース）

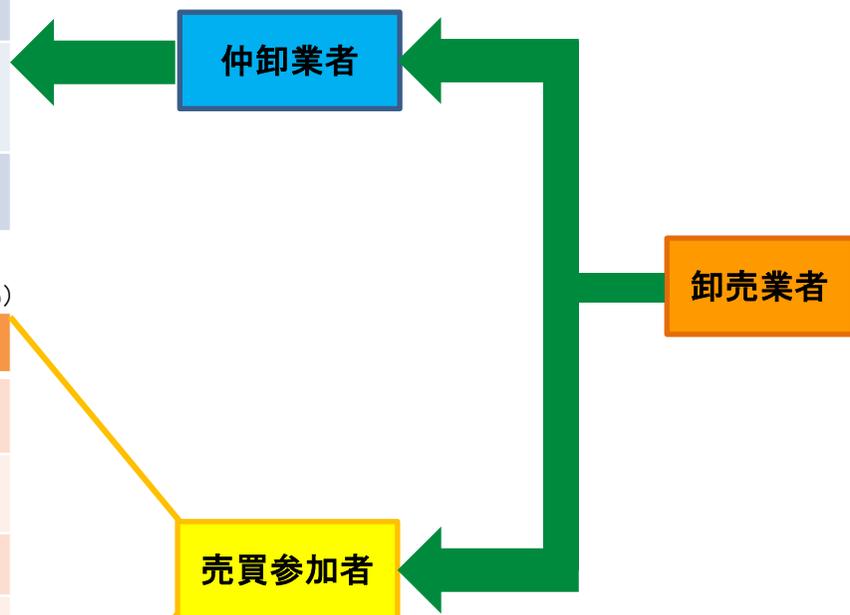
○ 中央卸売市場を利用する仲卸業者の販売相手、売買参加者

○ 仲卸業者の販売先割合（令和元年度）（金額ベース、単位：％）

	青果	水産	食肉	花き
一般小売店等 （八百屋、魚屋、肉屋、花屋等）	18.8	23.4	9.2	44.8
大規模小売店等 （量販店、生協、給食事業者等）	65.7	52.9	72.9	32.1
加工業者・外食事業者等	15.4	23.6	17.9	23.1

○ 売買参加者の内訳（令和3年度）（単位：％）

	青果	水産	食肉	花き
一般小売店（八百屋、魚屋等）	59.4	47.8	51.9	85.3
外食、給食、納入業者	14.6	7.5	5.8	1.2
量販店、生協	9.6	8.5	7.4	1.6
他市場卸売業者等	4.4	3.1	10.2	1.8
加工業者	2.9	7.9	8.3	0.7
その他	9.2	25.2	16.2	9.4



資料：農林水産省食品流通課調べ

○ 中央卸売市場の配置

○ 全65市場(40都市)

- 青果 : 50市場(38都市)
- 水産物 : 34市場(29都市)
- 食肉 : 10市場(10都市)
- 花き : 14市場(10都市)
- その他 : 5市場(4都市)

※令和5年10月時点

凡例

●: 開設者が都府県のもの

○: 開設者が市のもの

数値は開設(業務開始)年を表す(年号は昭和)

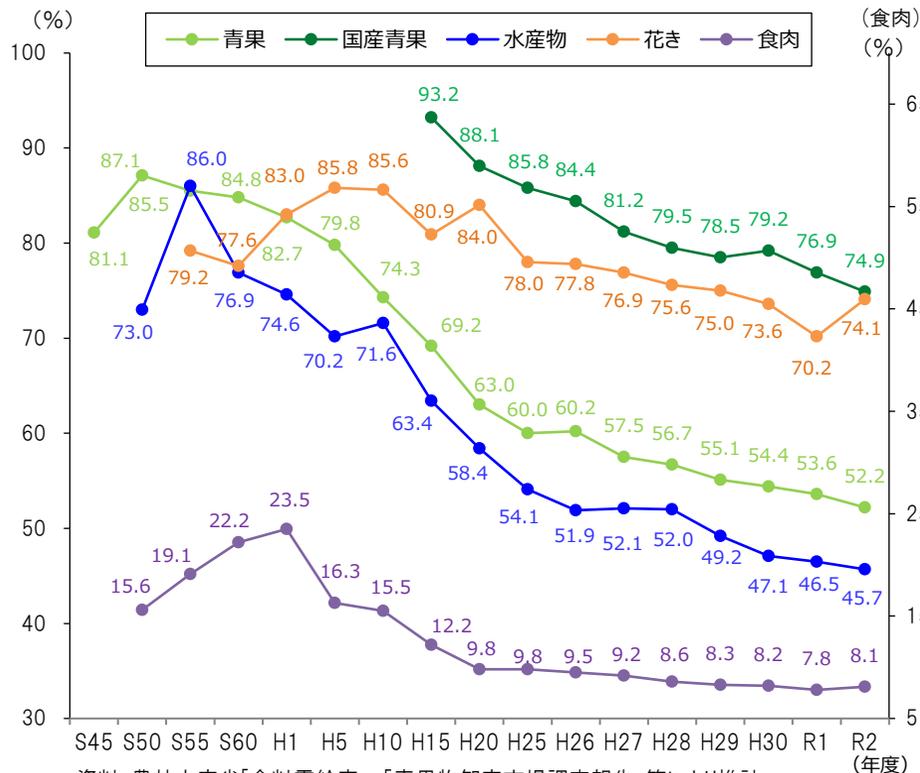


注: 以下の開設者にとっては、複数市場を開設
 仙台市3市場、東京都11市場、横浜市2市場、名古屋市3市場、
 京都市2市場、大阪市3市場、神戸市3市場、広島市3市場、
 福岡市3市場、鹿児島市2市場(令和4年度末現在)

卸売市場経由率と卸売市場数・卸売業者数

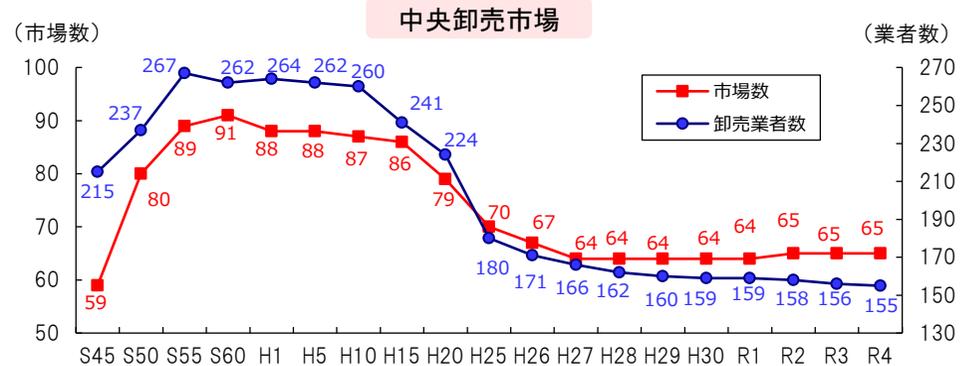
- 卸売市場は生鮮食料品等の流通の基幹的なインフラとしての役割を果たしており、青果の5割強、水産物の5割弱が卸売市場を経由している(国産青果物では約7割)。
- 市場経由率は、加工品など卸売市場を経由することが少ない物品の流通割合の増加等により、花き、食肉を除き、低下傾向で推移している。
- 中央卸売市場及び地方卸売市場の市場数及び卸売業者数は、中央卸売市場の市場数を除いて、減少している。

■卸売市場経由率の推移(重量ベース、推計)



資料：農林水産省「食料需給表」、「青果物卸売市場調査報告」等により推計
 注：卸売市場経由率は、国内で流通した加工品を含む国産及び輸入の青果、水産物等のうち、卸売市場(水産物についてはいわゆる産地市場の取扱量は除く。)を経由したものの数量割合(花きについては金額割合)の推計値。

■卸売市場数、卸売業者数の推移



資料：農林水産省食品流通課調べ
 注：各年度とも年度末時点の数である。



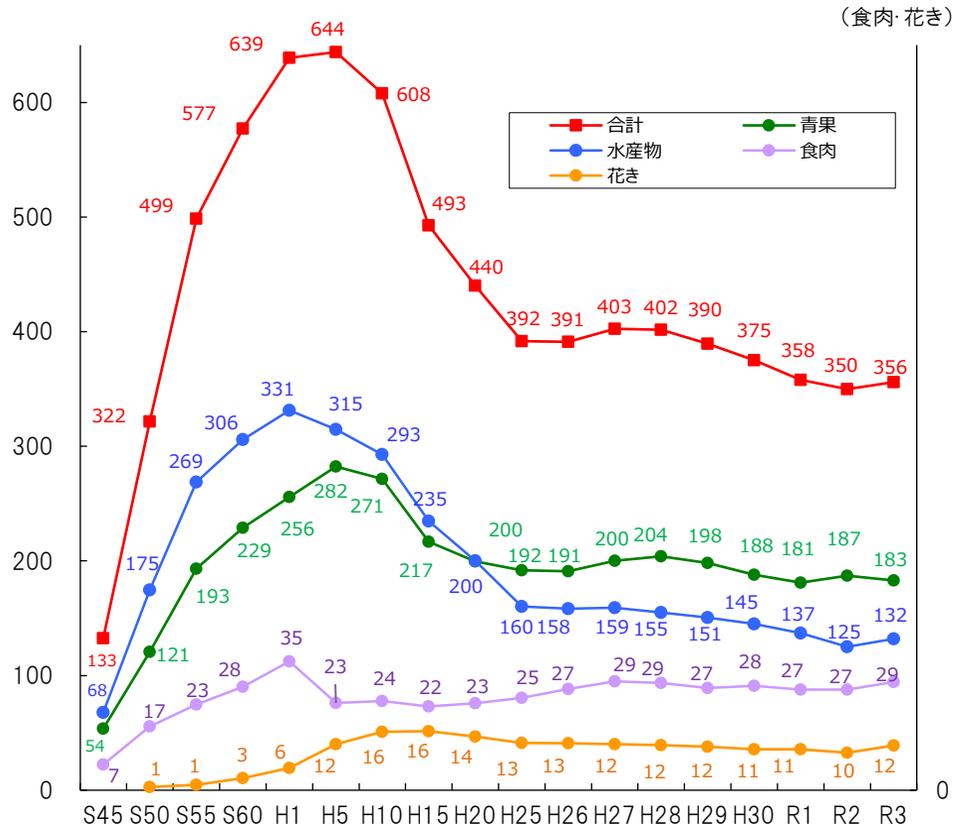
資料：農林水産省食品流通課調べ
 注：H23年度までは年度当初時点の数、H24年度以降は年度末時点の数である。

卸売市場の取扱金額

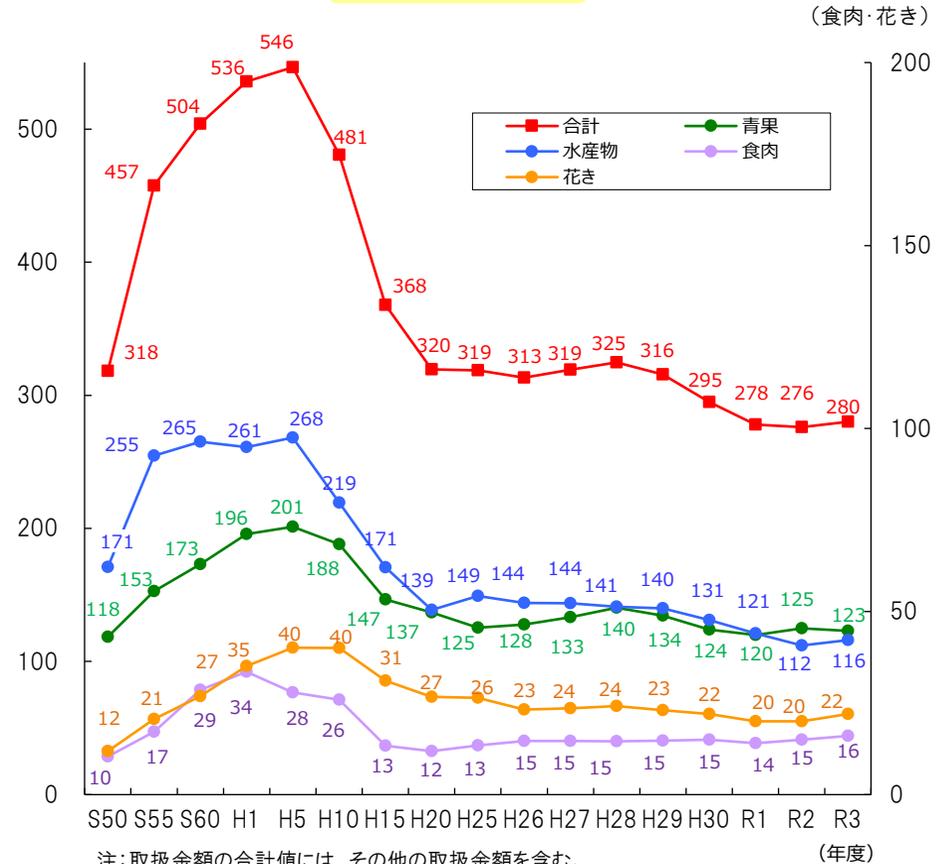
卸売市場における取扱金額は、平成初期にピークを迎え、その後、市場外流通の増加等の影響による取扱数量の減少等により総じて減少傾向で推移してきたが、近年、部類によっては概ね横ばいの傾向もみられる。

取扱金額の推移(単位:100億円)

中央卸売市場



地方卸売市場



注1. S45年度の中央卸売市場の取扱金額の合計値には花きの取扱金額は含まない。

2. 取扱金額の合計値には、その他の取扱金額を含む。

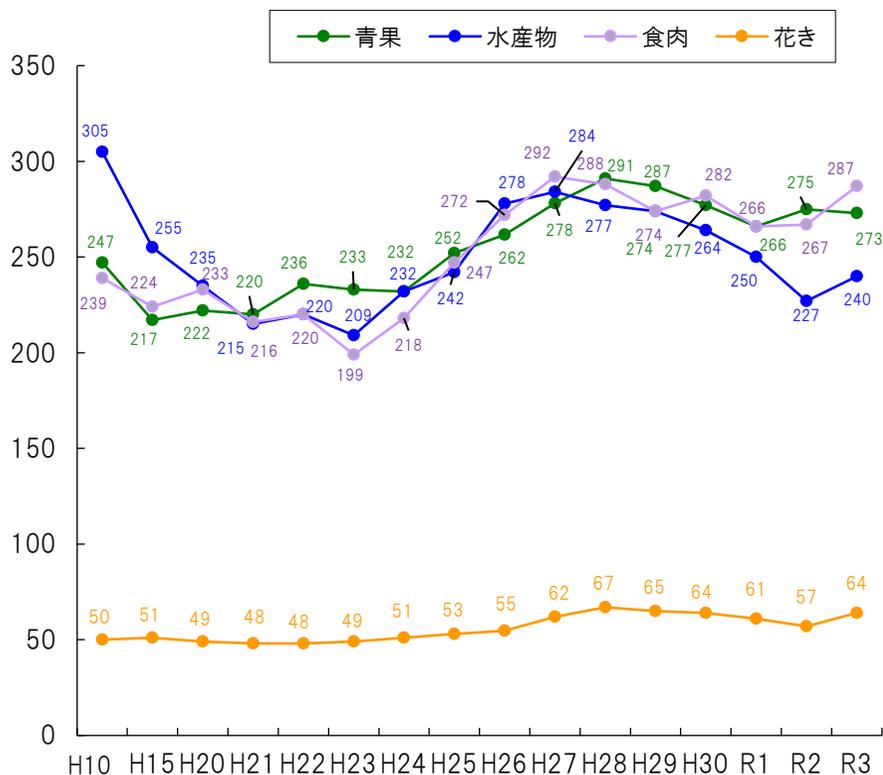
注:取扱金額の合計値には、その他の取扱金額を含む。

資料:農林水産省食品流通課調べ

○ 卸売業者及び仲卸業者の経営動向①（取扱金額等）

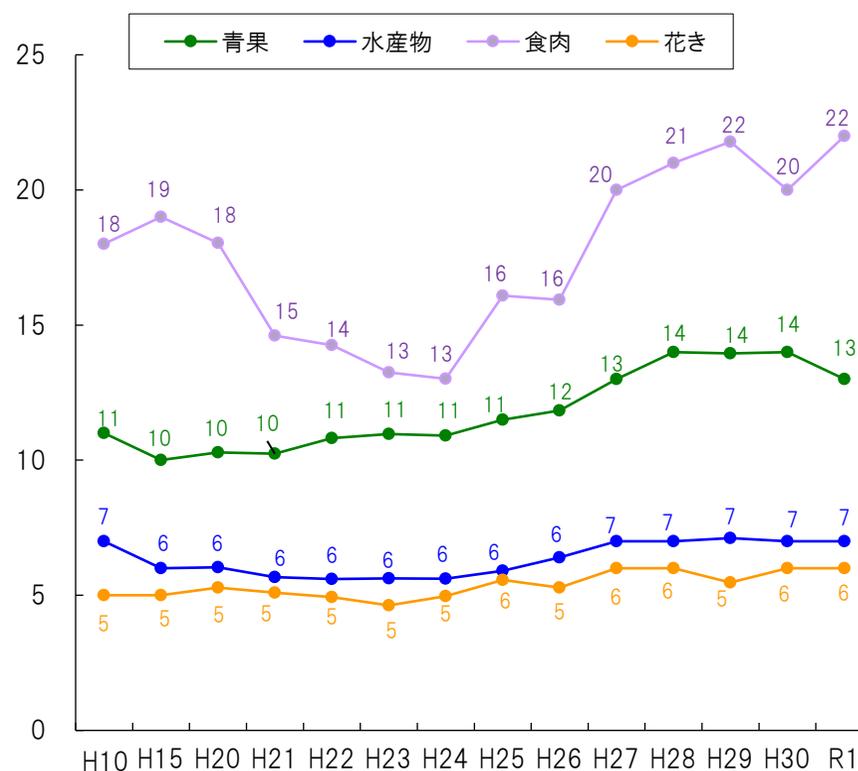
- 中央卸売市場における卸売業者1業者当たりの取扱金額は、花きを除き近年減少傾向で推移している。
- 中央卸売市場における仲卸業者1業者当たりの仕入金額は、食肉を除き近年横ばい傾向で推移している。

■ 中央卸売市場卸売業者1業者当たり
取扱金額の推移(単位:億円)



資料:農林水産省食品流通課調べ

■ 中央卸売市場仲卸業者1業者当たり
仕入金額の推移(単位:億円)



※令和元年度までしかデータがないため更新していない。

○ 中央卸売市場卸売業者及び仲卸業者の営業利益率

- 卸売業者、仲卸業者の営業利益率は、いずれの分野においても±1%前後。
- 下段表が示すように、卸売（川上）よりも仲卸（川下）の方が営業利益が低い傾向。
- スーパーマーケットの営業利益率は1.4%。

○ 中央卸売市場卸売業者及び仲卸業者の営業収支（総売上高に対する割合）の内訳（令和3年度）

【卸売業者】

(単位：%)

	青果	水産	食肉	花き
売上総利益（粗利）	6.20	6.36	4.07	10.41
販売費・一般管理費	5.90	6.01	3.95	9.75
うち人件費	2.59	3.49	1.65	5.26
営業利益	0.30	0.35	0.11	0.66

【仲卸業者】

単位：%

	青果	水産	食肉	花き
売上総利益（粗利）	13.02	12.88	6.86	19.01
販売費・一般管理費	12.76	13.89	7.17	19.39
うち人件費	5.94	7.44	2.99	10.71
営業利益	0.25	▲1.01	▲0.31	▲0.39

資料：食品流通課調べ

○ 他業態の営業収支（総売上高に対する割合）の内訳（令和3年度決算実績（確報））

(単位：%)

	全産業	食料品製造業	飲食料品卸売業	飲食料品小売業	飲食店	持ち帰り・配達 飲食サービス業
売上総利益（粗利）	26.0	22.0	14.0	32.7	63.5	57.5
販管費・一般管理費	23.1	20.0	13.4	31.8	75.2	58.4
うち人件費	10.2	7.3	5.3	12.9	34.9	32.9
営業利益	2.9	2.0	0.6	0.9	▲11.7	▲0.9

資料：中小企業庁「中小企業実態基本調査」
(注) 法人企業のデータである。

○ スーパーマーケット経営指標（令和4年度）

(単位：%)

売上高規模	全体	30億円未満	30億円以上 100億円未満	100億円以上 300億円未満	300億円以上 1000億円未満	1000億円以上
売上総利益（粗利）	26.41	26.32	25.80	26.32	26.91	26.89
営業利益	0.99	-0.03	0.35	1.10	1.60	2.48

資料：2023年「スーパーマーケット年次統計調査報告書」
(一社) 全国スーパーマーケット協会
(一社) 日本スーパーマーケット協会
オール日本スーパーマーケット協会

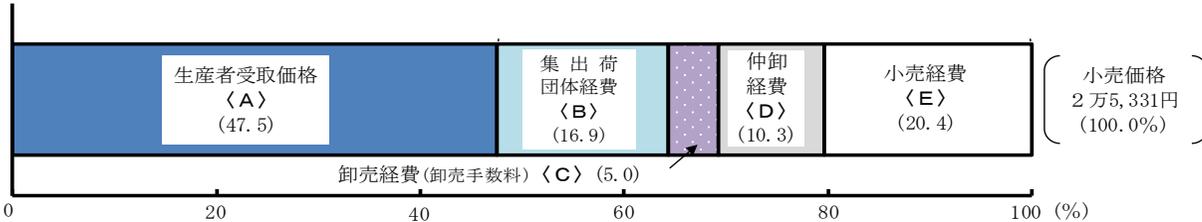
○ 食品流通段階別価格形成調査（平成29年度）

※加工品については統計データなし

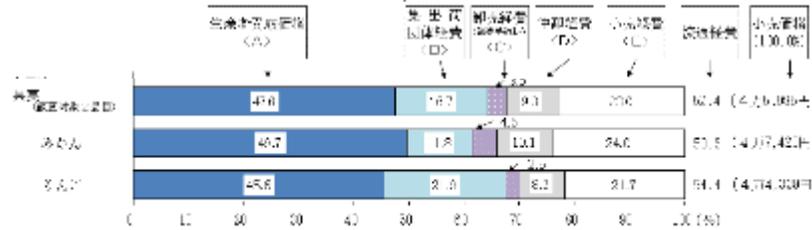
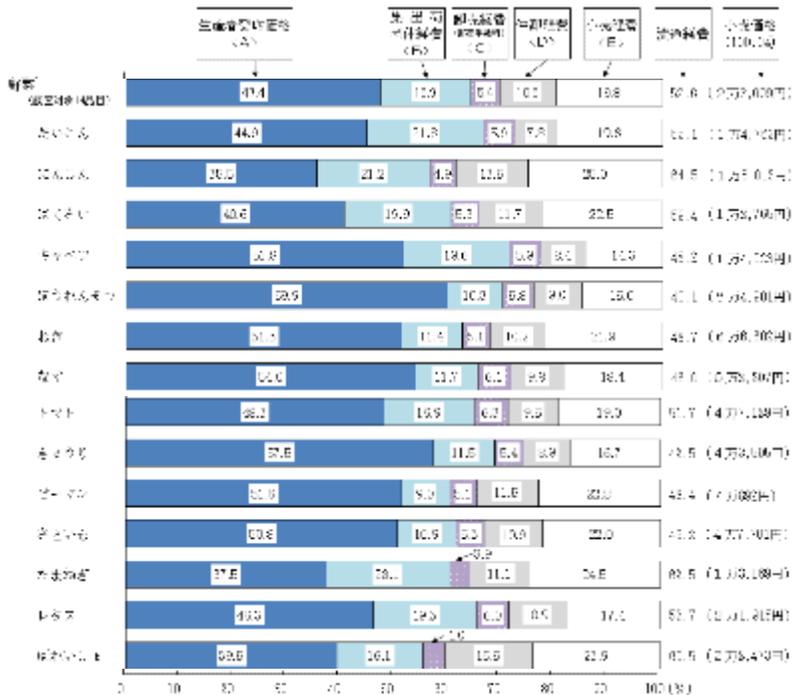


○ 品目別小売価格に占める各流通経費等の割合（100kg当たり）（試算値）

・ 青果物全体（調査対象16品目）



・ 品目別



- ※①生産者受取価格：卸売価格から卸売経費及び集出荷経費を控除。生産者による選別・荷造労働費を含む。
- ②集出荷団体経費：生産者団体等による集出荷経費。
- ③卸売経費：集荷団体が卸売業者に支払った卸売手数料。市場使用料、人件費、集荷販売費、奨励金、営業利益が含まれる。
- ④仲卸経費：仲卸業者の販売価格と卸売価格の差。人件費、営業利益が含まれる。
- ⑤小売経費：人件費、営業利益が含まれる。

出典；農林水産省統計部
食品流通段階別価格形成調査報告（青果物調査）（平成29年度）

○ 卸売市場の老朽化の現状と対策

○ 全国65の中央卸売市場の5割弱にあたる29市場は、40年以上（1984（昭和59）年）移転・大規模整備を行っていない。うち、12市場は50年以上経過。
【令和6年3月末現在】

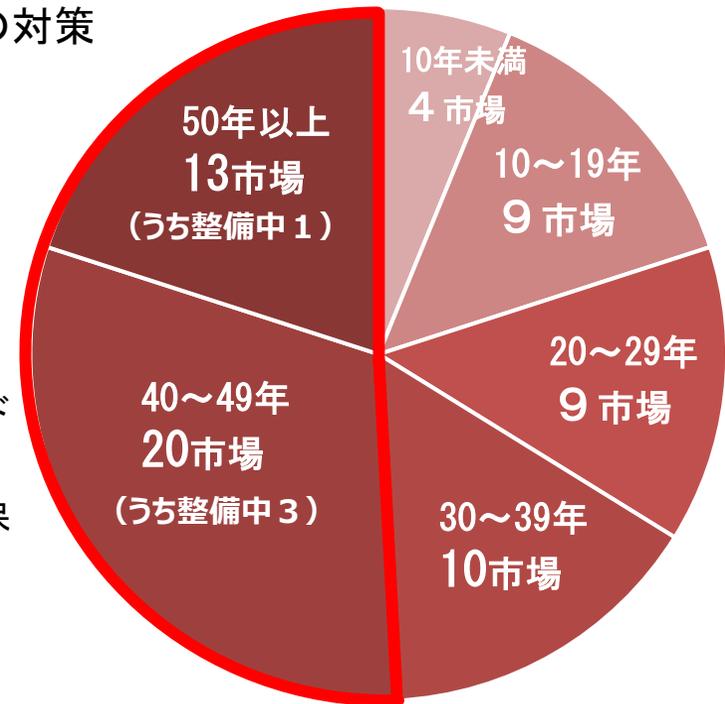
市場名	経過年数	備考
青森市中央卸売市場	50年以上	昭47
八戸市中央卸売市場	47年	昭52
仙台市中央卸売市場本場	50年以上	昭35（昭48移転）
仙台市中央卸売市場食肉市場	42年	昭50
秋田市中央卸売市場	49年	昭50
いわき市中央卸売市場	48年	昭52
宇都宮市中央卸売市場	50年以上	昭50
さいたま市食肉中央卸売市場	50年以上	昭36
東京都中央卸売市場豊島市場	50年以上	昭10
東京都中央卸売市場足立市場	50年以上	昭10
東京都中央卸売市場多摩NT	42年	昭58
浜松市中央卸売市場	46年	昭54
金沢市中央卸売市場	45年	昭41
福井市中央卸売市場	49年	昭49
名古屋市中中央卸売市場北部市場	40年	昭25（昭57移転）
大阪府中央卸売市場	46年	昭53
大阪市中央卸売市場南港市場	41年	昭33（昭59移転） （整備中）
神戸市中央卸売市場東部市場	50年以上	昭31
奈良県中央卸売市場	48年	昭52
和歌山市中央卸売市場	50年以上	昭49（整備中）
岡山市中央卸売市場	42年	昭36（昭57移転）
広島市中央卸売市場中央市場	43年	昭23（昭56移転） （整備中）
広島市中央卸売市場東部市場	50年以上	昭49
宇部市中央卸売市場	50年以上	昭47
徳島市中央卸売市場	50年以上	昭47
高松市中央卸売市場	44年	昭42（整備中）
松山市中央卸売市場	50年以上	昭49
北九州市中央卸売市場	49年	昭33（昭50移転）
久留米市中央卸売市場	50年以上	昭36
長崎市中央卸売市場	49年	昭50
宮崎市中央卸売市場	48年	昭52
鹿児島市中央卸売市場青果市場	48年	昭10（昭51移転）
沖縄県中央卸売市場	41年	昭59

大規模整備未実施の市場への対策

生鮮食料品の流通への核として

- ①品質・衛生管理の強化
- ②物流業務の効率化・省力化
- ③保管調整機能の強化
- ④輸出先国までの一貫したコールドチェーンの確保
- ⑤輸出先国が求める衛生基準の確保等に資する卸売市場整備を支援

【施設整備後の経過年数】



老朽化した市場



▲老朽化した荷受所

▲場内通路が狭隘

整備後のイメージ



▲効率的なトラックバース

▲フォーク等が通行可能な通路